

## 株式会社 ファルマ

弘前市北横町 19-1

Tel 0172-37-6016(代)

発行：編集委員会

印刷：小野印刷

■ 第 175 号 ■

## Pharmaizm

ファルマイズム

## 同じベクトルでやっつけていく大切さ

取締役薬剤部長・ファルマ弘前薬局薬局長 相馬 渉

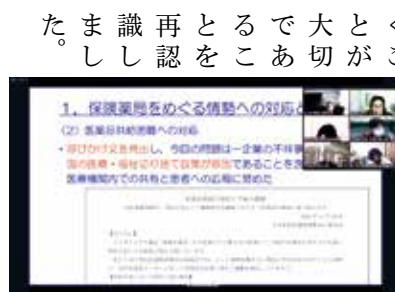
3月4日(土)に第45期全日本民医連薬局法人代表者・専務合同会議が、4年ぶりにZOOMで開催されました。全国から133名の参加でした。

記念講演は「薬局法人の経営問題について」というテーマで、全日本民医連経営部の内田次長の講演がありました。コロナ禍になり薬局は厳しい経営状況が多くなっているからこそ、情勢を的確に捉え、今こそ民医連運動の原点に立って、オール地域、オール民医連の視点で、全職員で事業・経営をする大切さが語ら

れ、そのために必要な経営困難を打開するための3つの基本方針と5つの重点方針が示されました。

その他に、調査報告、問題提起、実践報告(かかりつけ薬局の取り組み、服薬情報提供書の取り組み、中長期計画作成の取り組み)、学習感想交流がありました。多くの法人がコロナで処方箋が減り、後発品供給問題で苦しんでいました。健康サポート薬局、地域連携薬局の認定を受け、とれるべき加算は確実に算定していかなければ生き残れないことがよくわかりまし

た。学習感想交流では、ファルマの取り組みを参考にしたいとたくさんの方々が質問がきました。経営が厳しいからこそ、目標を掲げて、全職員で経営の問題を共有し、同じベクトルでやっつけていくことが大切であることとを再認識しました。



全国の保険薬局の方と交流しました

## 原発・核燃反対!

本部 課長補佐 阿部 千佳子

3月5日(日)リンクステーションホール青森で「さようなら原発・核燃3・11青森集会」が2019年以来開催され、ファルマからは26名が参加しました。

はじめに樋口英明元裁判官による「私が原発をとめた理由ー原発と再処理工場の運転差し止めについてー」の講演がありました。政府は40年以上の運転している原発を稼働しようにしています。樋口元裁判官は「老朽原発を稼働するということは想定外のことが起こる、老朽

## 全日本民医連薬局法人経営学習会

## 「薬局法人の経営の見方」参加報告

専務取締役 崎野 修

2月4日(土)9~13時オンライン開催となり、薬局法人のトップ幹部を中心に126名の参加がありました。今回のように経営に特化した学習会は珍しく、背景として薬局法人の急激な経営悪化があります。

この間の薬局をめぐる情勢を振り返ると2018年大規模薬価改定を皮切りに2019年消費税増税、2020年新型コロナウイルス発生による外来診療の縮小と毎年薬価改定な

どが立て続けに実行され、更にコロナ禍で処方箋枚数が大幅に減少したにもかかわらず薬局に対するコロナ補助金が少額だったことも経営悪化の要因となりました。

このような状況を踏まえながら講師の田中公認会計士より経営改善に向けた視点が示されました。ポイントとして中長期的な視点に立った科学的な経営分析を進めること、県連や医科法人と協議することの重要性について指

摘されました。薬局単独で事業収益を拡大することが困難な状況の中であらためて病院・診療所との連携、地域における存在意義とポジショニングが重要だと気づかされました。後半は分散会となり、交流も含めて経営課題や予算作成などについて意見交換することができ有意義な時間となりました。

厳しいながらも先進的な取り組みを進めている法人もあり大変参考になりました。社員集会などを



学習会に参加した崎野専務

通じて今後の経営について意思統一を図っていきたいと思います。



ねぶたをつけて行進しました

しゃっていました。今原発を廃炉にしてもずっと原発を管理し続けなければなりません。でも1日も早い原発ゼロを目指して活動していこうと改めて思いました。

その後は各地からの報告に続き、久々にデモ行進がありました。今回のファルマは2020年のデモ行進のため用意した「扇ねぶた」を背負って行進しました。準備している段階から他団体の方に撮影されるなど注目されていました。シュプレヒコールとともに沿道の方にアピールしながら県庁まで行進しました。

※ガル 地震の揺れの強さを表すのに用いる加速度の単位



たくさんの職員が参加しました

## 許せない！政府の姿勢

本部 事務長 館田 総子



2月15日(水)、全日本民医連社保委員長学習交流会がオンラインで開催され、各地から160名が参加しました。この交流会は、全日本民医連としての2月から6月までの運動提起がなされ、大軍拡と改憲、社会保障解体を一体のものとしてとらえ、しっかりと情勢を学び、3つの大きな柱(①大軍拡、

改憲発議を許さないとりくみと、全世代型社会保障構築会議「報告書」をもとに通常国会に提出される社会保障改憲法案阻止の運動を一体に進める②受療権を守る運動、地域に拡がる困窮へのとりくみ、アウトリーチ実践に積極的にとりくむ③2023年統一地方選挙で、私たちの要求と一致でき、地方議会での実現に尽力できる議員を多く議会へ送り出す)の運動を強めようと提案されました。全体学習は、「全世代型

ろは、選挙で政治を変えることが重要だということです。2023年は一斉地方選挙が行われます。全日本民医連理事会より、地方自治体選挙における民医連の基本要求案について報告がありました。第2回評議会方針に則り、この要求を実現するために力を尽くしてくる地方議員を多く当選させるため、仲間とともに地域に一歩踏み出しましょう。声をあげましょう。共感をひろげましょう。

## 話し合いの大切さを学ぶ

代表取締役 石川 隆之

2月4日(土) 午後1時30分より全日本民医連による「大軍拡阻止・改憲を許さない学習活動交流総決起集会」が行われWebで参加しました。

前半は一橋大学名誉教授の渡辺治氏による「安保3文書は何を狙っているのか」と題しての講演を拝聴しました。渡辺氏によると「安保3文書」の狙いは一言で言うところ2014年に法制化した集団的自衛権を実際に行使で

きるような体制を作ることだそうです。「安保3文書」には、そのための基本方針・防衛力強化の目標・具体的な防衛力整備計画が書かれているとのこと。上記計画の中には反撃(敵基地攻撃)能力の保有も含まれています。このことは場合によって先制攻撃となり、明確に憲法違反となることを話されました。

また、最終的には明文改憲をも狙っているとのこと。さらには、このような防衛力の強化が行われれば大増税や社会保障費等の更なる削減も現実となり国民の生活に及ぼす影響ははかり知れないことも話されました。



渡辺治氏の講演を聴く石川社長

とです。改憲も阻止しなくてはなりません。さらには、このような防衛力の強化が行われれば大増税や社会保障費等の更なる削減も現実となり国民の生活に及ぼす影響ははかり知れないことも話されました。

## 『新しい戦前』にならないために

藤代薬局 三上 菜美

2月28日(火)北海道・東北地協「全日本民医連第45期第2回評議会委員の方針学習会」がZOOMで開催され北海道、東北から482名が参加しました。

全日本民医連事務局長の岸本啓介氏から「第45期第2回評議員方針を学ぶー転換点の情勢と展望をつかみ前へ進もう」というテーマで講演があり、非正規雇用の実態や岸田内閣の政策動向、憲法と



全日本民医連岸本事務局長が講師でした

せん。『新しい戦前』にならないよう、憲法を学び憲法を武器に運動し、未来の子どもたちのために大人たちが責任をもって行動をしていくことが大切だと感じました。

## 写真紹介

## 浪岡野沢公民館へ出前講座

2月7日(火)浪岡野沢公民館主催の出張出前講座が同公民館で開催されました。講師はファルマ浪岡薬局の高橋和希薬局長で「お薬・サプリメントの飲み合わせ」について話しました。「聞いていてとてもわかりやすい、勉強になりました」「もっと学びたい」などの感想がありました。



スライドを使って講義をする高橋薬局長

## 県連青年雪かき隊

2月25日(土)県連青年委員会による雪かき隊ボランティア活動が行われました。

雪の降る中12名の参加者が集まり、2カ所に分かれて弘前市内地域の雪かきを行いました。



積もった雪を頑張って片づけました！

## 発達障がい本人や

## 家族だけの問題ではない

ファルマ弘前薬局 薬剤師 安田 佳乃

3月4日(土)にZOOMにて2022年度薬剤師中期研修・拡大管理者研修が開催されました。

今回は「発達障がい、二次障がいの防止、個人の尊厳や多様性への理解」について生協さくら病院副院長の小山智教先生に講演していただきました。

普段の業務ではADHD(注意欠如・多動症)やASD(自閉症スペクトラム障害)という病名や薬にばかり目がいきがちになっていますが、その背景には虐

待や学校の教育問題など様々な問題が関わっているというところがわりとでも勉強になりました。

また社会人になってから周囲との違和感があり、職場の上司や同僚から受診を勧められ、実は発達障がいだったと分かるパターンも少なくはないそうです。

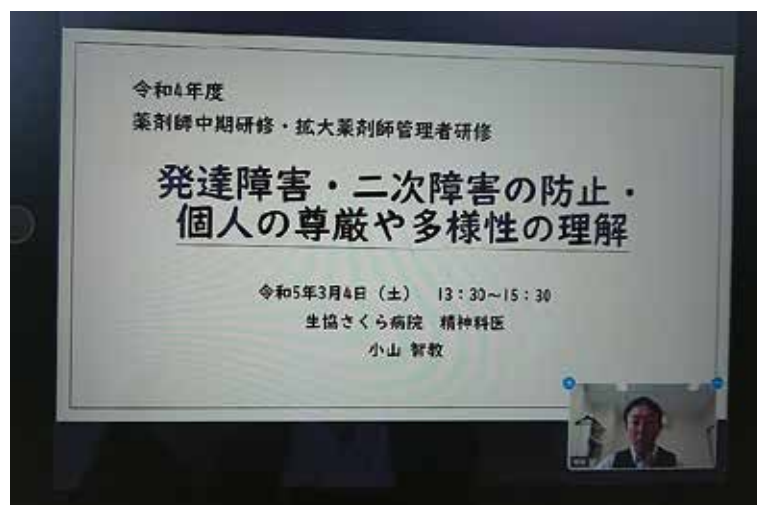
自分自身で周りとの違いに混乱しパニックになったり、職場の理解が得られなかったりなど様々な理由で離職や退職に繋がってしまう場合もあるとのこと

でした。

発達障がい本人やその家族だけの問題ではなく、

医師・薬剤師はもちろんです、学校や職場など周りの人たちの理解・

支援がとても重要であると改めて感じた研修会となりました。



発達障がいについて学習しました

## なくしたいヒューマンエラー

ファルマ弘前薬局 栗田 沙緒莉

2月15日(水)株式会社ビジネスサービスの方による「セキュリティ対策学習会」が開催されました。昨今のセキュリティ事情や対策について事例を交えながら、教えていただきました。印象的だったことは、どの事例もヒューマンエラーによって起きていることが多いということです。仕事で

メールやデータのやりとりをすることがあります。その中で起きてしまったことを隠すことで、さらに大事に至ってしまうこともあるので、まずはエラーを起こさないように十分に気を付け、万が一起きてしまったら直ちに報告することの大切さを感じました。



わかりやすい説明でした

## 地協薬剤師事務交流集会

ファルマ弘前薬局 副薬局長 葛西 孔明

2月25日(土)、第14回北海道・東北地協薬剤師・事務交流集会が4年ぶりにコロナ禍とあって初のWEB開催となりました。

記念講演では、津軽保健生活協同組合理事長・健生病院長の伊藤真弘先生よりコロナ時代に求められるヘルスプロモーション活動と題して、現在抱えている社会問題に対し民医連職員としてどのようなことを考え、どのように立ち向か

2月14日(火)、ファルマ弘前薬局会議室にてOTCプロジェクト委員会委員長の津川薬剤師より2022年度高度管理医療機器の継続研修の伝達講習が行われました。

医療機器は多種多様であり、最近ではデジタル技術の進歩によりスマートフォンアプリやウェアラブルデバイスなども増えていきます。一般の方でも医療機器を取り扱う機会が今後はさらに増加する



西沢薬局長からは「OTC48品目リスト紹介」がありました

## 必要不可欠な自分自身のアップデート

ファルマ弘前薬局 薬剤師 藤田 佳奈

代、役割の近い参加者でのグループワークとなりました。今回の講演の感想を含めて、職場での悩み、ま

場として、次回は是非、現地開催を強く望みます。

## コロナ時代に求められるヘルスプロモーション活動

地域住民の健康と生活を守る協働の担い手として

2023/02/25 津軽保健生協 健生病院 伊藤真弘

記念講演をする伊藤理事長

# 14才のわたし

ファルマ弘前薬局 主任補佐 村上 昌

写真は中学生 2 年の時の自分です。小学生時代には野球部でしたが中学生時代にはソフトテニスをしていました。

ソフトテニス部に入った理由は、高校受験の推薦をもらう為でした。自分の入学した中学校はテニス部が強く、近くの高校に強いテニス部があり、県大会に出場さえすればほぼ推薦をもらえるような状況でした。

その推薦のために 3 年間

毎日の部活に加え、夜間の練習や市内のテニスクラブでの練習などほぼ部活漬けの毎日でした。数少ない自由時間を勉強に費やしもせずゲームなどの趣味に興じ、その結果中学 2 年の新人戦で県大会 2 位、選抜での全国大会出場の結果をだしました。推薦安泰と思いきや、自分が中学校 3 年時に受験の前期後期制度導入により、推薦制度が消えました。

その後普通科の高校に進学し、高校生活の中で紆余曲折があり今の自分がいます。



学生時代の村上薬剤師

## 史上最悪の介護保険制度改正に抗して

居宅介護支援事業所ファルマ 伊勢 充

2 月 18 日 (土)、弘前市の介護保険を良くする会主催の報告会と総会を行いました。報告会は「在宅介護が在宅「放置」へ……史上最悪の介護保険制度改正に抗して」と題し、昨年 11 月に弘前市内の介護保険事業者へ向けに行ったアンケートの結果報告と、令和 6 年 4 月施行の第 9 期介護保険計画で予想される改定内容について説明しました。アンケート結果からは、コロナウイルス感染症と物価高騰により介護保険事業者の経営が厳しく

なっている実情等を把握し、2 月 9 日に要望書を作成し市役所介護福祉課へ提出しています。改定内容についての学習では、史上最悪の改定とも称される、自己負担増が懸念されていること、より給付と負担のバランスに政府が着目し改善しようとしているのかを共有しました。保険料負担の在り方や、自己負担 2 割の拡大、施設利用者の負担増、ケアプランの有料化など、介護が必要な方にとっても、介護をする人にとっても生活

を苦しめるものばかりが予定されています。今回の改悪に対しては多くの職能団体や、認知症と家族の会などから反対の世論があがったこともあり、統一地方選挙後に結論を送りすることになりました。改定の全てが実現してしまえば、介護が必要になっても、安心して生活できなくなってしまう、人権を無視



アンケート結果と介護保険計画の改定内容を説明する伊勢さん(写真奥)

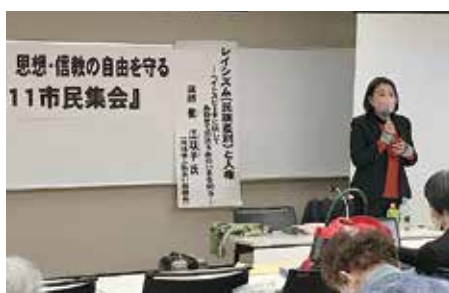
した社会となりかねません。良くする会では出前講座も行いますので、詳細を知りたい方はぜひ出前講座を活用して、介護保険について一緒に考えていきましょう。

## 「違いは豊かさ」……ヘイトスピーチに抗して

相談役 高松 利昌

「川崎市に住むゴキブリ、ウジ虫たちを駆除するためにデモをします。」……川崎市で繰り返された身の危険にさえ晒され続けたレイシズムとヘイトスピーチ。無秩序で繰り返された蛮行に抗って、ヘイト禁止の立法化に向けて国を動かし、市を動かした経験がリアルにお話しされました。

この講演は建国記念の日である 2 月 11 日 (土)、弘前市民会館で「レイシズムと人権……ヘイトスピーチに抗して」と題する講演会が弘前南教会・中弘



講師の崔江以子さん

南黒地区労連などの共催で開催されたもので、講師は川崎市に住む朝鮮出身の 3 世代目で川崎市ふれあい館館長の崔江以子さんです。戦争が無かったら、日本によって朝鮮が植民地にされなかったら今頃は祖国で安寧に暮らすことができただであらうにもかかわらず、強いられた境遇のために被っている人種差別による人権侵害はとて深刻です。しかし、その一方で、地元で暮らす様々な国の方々が町ぐるみで交流することにより、

## 写真紹介

## 県連医学対大運動

2 月 25 日 (土) ~ 26 日 (日) の 2 日間、青森県連医学対大運動が取り組まれ、25 日は本部の工藤留美さん、26 日はファルマ弘前薬局の小田桐由衣薬剤師と水木孝之主任が参加しました。



寒い中、チラシ配布と対話アンケートをしました

雪の降る寒い中でしたが、県連奨学生案内パンフレットとグッズなどを受験生一人ひとりに渡したり、対話アンケートをしたりしました。

## 岩手医科大学就職セミナー

3 月 4 日 (土) 岩手医科大学主催の就職セミナーに同大学出身のファルマ弘前薬局小田桐由衣薬剤師と本部の舘田事務長が参加しました。

去年はオンラインでの参加でしたが、今年は直接学生さんと会いファルマの魅力や薬剤師業務について話すことが出来ました。



学生に説明する小田桐薬剤師